

## 小児科外来を風邪症状で受診される方へお願い。

### 救急外来で診察致します、救急外来で受付ください。

津山市内でも新型コロナウイルス感染患者が発生いたしました。

これまでの多くの報告から小児の感染者は幸い比較的軽症例が多いことが分かっていますが、心臓や腎臓などの病気で受診する児と風邪症状で受診する児がなるべく接しないように、風邪症状・胃腸炎症状で受診される児を救急外来で診察させていただくことと致します。流行が収束するまでの間、ご協力いただければ幸いです。

これまで同様、**風邪症状はまず、かかりつけ医への受診をお願い致します。**

### \*\*\*\*\*なぜ診察場所を別にするの？\*\*\*\*\*

新型コロナウイルス感染は 咳、発熱、全身倦怠感、味覚障害、嗅覚障害、下痢などが主な症状ですが、基礎疾患のない方は 8 割以上は軽症であり、小児の感染者はさらに軽症の割合が高いことがわかっています。軽症な場合には症状や診察のみで他の風邪と区別することは難しいですが、現在は多くの風邪症状の方全員に新型コロナウイルスの検査を行うことは、残念ながらできません。

当院には心疾患や腎疾患など基礎疾患があり受診されている児が多く、これらの児は基礎疾患のない児と比べ重症化する場合があります、これらの児への感染を防ぐことが大切です。

くしゃみや唾などの飛沫感染や汚れた手などによる接触感染が主ですので、きちんとマスクをしていれば、待合で短時間隣にいたただけで、感染することはないのですが、吸入処置や吸引処置などの処置後は感染リスクが高くなりますし、長時間閉鎖空間をともにすることも感染リスクを高めます。このため咳、鼻汁、熱、下痢などの感冒症状があり受診される方の診察場所を基礎疾患のあるお子さんと分けるため、しばらくの間、日中も救急外来の小児診察室（第 3 診察室）で行うことといたしました。ご理解、ご協力いただければ幸いです。

### \*\*\*\*\*引き続きのお願いです。\*\*\*\*\*

COVID-19(新型コロナウイルス)感染症が疑われるかたは、医療機関を受診する前に、まず「帰国者・接触者相談センター」に電話連絡し、指示を受けてください。

流行地に滞在したかたや感染者と接触したかた、風邪症状や発熱が 4 日以上続くかた（基礎疾患がある場合は 2 日以上続く場合）、強いだるさや息苦しさがあるかたがこれにあたります